申込受付期間は、平成26年４月１日（火）９時から４月８日（火）までとし、４月８日（火）までに申込データの受信を完了したものに限り受け付ける。

なお、インターネットが利用できない環境にある受験希望者で、受験申込用紙の交付を受けた者は、受けようとする第１次試験の試験地に対応する次の申込先に郵送又は持参により平成26年４月１日（火）又は４月２日（水）に提出すること。郵便又は信書便による申込みは、平成26年４月２日（水）までの通信日付印のあるものに限り受け付ける。

| （第１次試験の試験地） | （申込先） | | |
|---|---|---|---|
| 札幌市 | 人事院北海道事務局 | 〒060―0042 | 札幌市中央区大通西12丁目 |
| 盛岡市<br>仙台市 | 人事院東北事務局 | 〒980―0014 | 仙台市青葉区本町３―２―23 |
| 千葉市<br>東京都<br>新潟市<br>長野市 | 人事院関東事務局 | 〒330―9712 | さいたま市中央区新都心１―１ |
| 静岡市<br>名古屋市<br>金沢市 | 人事院中部事務局 | 〒460―0001 | 名古屋市中区三の丸２―５―１ |
| 京都市<br>大阪市<br>神戸市 | 人事院近畿事務局 | 〒553―8513 | 大阪市福島区福島１―１―60 |
| 松江市<br>岡山市<br>広島市 | 人事院中国事務局 | 〒730―0012 | 広島市中区上八丁堀６―30 |
| 高松市<br>松山市 | 人事院四国事務局 | 〒760―0068 | 高松市松島町１―17―33 |
| 福岡市<br>北九州市<br>熊本市<br>鹿児島市 | 人事院九州事務局 | 〒812―0013 | 福岡市博多区博多駅東２―11―１ |
| 那覇市 | 人事院沖縄事務所 | 〒900―0022 | 那覇市樋川１―15―15 |

⑵　受験票の交付　受験の申込みを受理した場合は、受験票を交付する。

受験票には、本人の写真１枚を貼り、第１次試験の際に必ず持参すること。

11　点字及び拡大文字による試験等

⑴　試験の区分「法律」について、視覚障害のため活字印刷文による受験ができない者には、点字による試験を行う。

点字試験の第１次試験地は、６⑶にかかわらず、札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市及び那覇市とする。

⑵　全ての試験の区分について、視覚障害の程度により、拡大文字による試験、試験時間の延長等を行う。

12　その他

⑴　受験手続その他受験に関する問合せは、人事院の地方事務局又は沖縄事務所に行うこと。

なお、インターネットによる申込みに関する問合せは、人事院事務総局（〒100―8913　東京都千代田区霞が関１－２－３）に行うこと。

⑵　提出書類等の所要事項は正確に記入又は入力すること。

⑶　受験に際し、身体に障害があるため特に何らかの措置を希望する者は、申込時にあらかじめその旨を申し出ること。

⑷　試験の詳細については、別に作成している受験案内、人事院のホームページ等を参照すること。

別記

専門試験出題分野一覧

専門試験（多肢選択式）

| （試験の区分） | （出題分野） |
|---|---|
| 政治・国際 | 次の１及び２に掲げる科目<br>１　政治学、国際関係、憲法、行政法、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）、経済学、財政学及び経済政策<br>２　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目<br>⑴　政治学及び行政学<br>⑵　国際関係及び国際法 |
| 法律 | 憲法、行政法、民法、商法、刑法、労働法、国際法、経済学及び財政学 |
| 経済 | 経済理論、財政学、経済政策、国際経済学、統計学、計量経済学、経済史、経済事情、経営学、憲法及び民法（担保物権、親族及び相続を除く。） |
| 人間科学 | 次の１から３までに掲げる科目<br>１　人間科学に関する基礎<br>２　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目<br>⑴　人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）並びに心理学における研究方法に関する基礎<br>⑵　教育学、福祉及び社会学に関する基礎並びに教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎<br>３　認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学（理論）、社会学（各論）、社会心理学及び現代社会論のうち、受験者の選択する４科目 |
| 工学 | 次の１及び２に掲げる科目<br>１　工学に関する基礎<br>２　技術論、基礎化学、工学基礎実験、情報基礎、電気工学、電磁気学、材料力学、流体力学、構造力学（土木）・土木材料・土木施工、土質力学・水理学、環境工学（土木）・衛生工学、構造力学（建築）、建築構造・建築材料・建築施工、計測工学・制御工学、情報工学（ハードウェア）、情報工学（ソフトウェア）、電子工学、通信工学、機械力学、熱力学・熱機関、土木計画、建築計画・建築法規・建築設備、建築史・都市計画、材料工学（材料科学）、材料工学（金属材料・無機材料）、原子力工学（原子核・放射線）、原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、船舶海洋工学（流体）及び船舶海洋工学（構造）のうち、受験者の選択する４科目、５科目又は６科目 |
| 数理科学・物理・地球科学 | 次の１から３までに掲げる科目<br>１　基礎数学及び情報数学<br>２　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目<br>⑴　線形代数、解析及び確率・統計<br>⑵　基礎物理及び地球科学<br>３　集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、地球物理学及び地質学 |